



# WJF 日本ルイ・アームストロング協会 ワンダフルワールド通信



日本ルイ・アームストロング協会 (ワンダフルワールド・ジャズ・ファウンデーション=WJF) 2019年10月発行  
〒279-0011 浦安市美浜 4-7-15 WJF 事務局 TEL:047-351-4464 FAX:047-355-1004 Email: saints@js9.so-net.ne.jp

ホームページ <http://wjf4464.la.coccan.jp/>

発行人 代表・外山喜雄 編集長・山口義憲 編集 外山喜雄



## お陰様で日本ルイ・アームストロング協会25周年

# 『皆様、ありがとうございます!』

## 英字新聞『ジャパントイムス』で大特集

### 感謝

皆様のご支援をいただき、日本ルイ・アームストロング協会は1994年発足以来、25年の活動を続けることができました。皆様と共に、多くの方々に助けをいただきながら様々な『夢』を追いかけさせていただきました。私たちの夢に『皆様の夢』を重ねていただき、長年のご支援心より感謝申し上げます!

**7月6日(サッチモの命日)と8月4日(誕生日)の25周年記念ダブルイベント、それぞれ120名様、170名様のご参加で、盛況のうち無事終了**

来る7月6日、日本ルイ・アームストロング協会(WJF)は発足25周年を迎えます!  
7月6日はルイ・アームストロングの48回目の命日、そして8月4日はサッチモの118回目の誕生日!

日本ルイ・アームストロング協会(WJF)発足25周年記念  
サッチモの命日とお誕生日... **ダブルイベントのご案内**



**7/6** 14:00-16:30

### 外山喜雄・恵子の ニューオリンズ物語

銀座教文館9階 ウェンライト・ホール  
銀座三越・銀座松屋・弱め向かい前の書店 教文館ビル9F TEL 03-5250-0789

映画 「アメリカン・ミュージック・ジャーニー(40分)」  
+「サッチモのワンダフルワールド誕生秘話(25分)」

トーク ニューオリンズ修行時代、  
ともに暮らした楽しい  
サッチモの隣人たち

演奏 「デキシーゼインズの演奏でのご案内」  
ニューオリンズ名所めぐり  
デキシーゼインズ 外山喜雄・恵子  
広津 誠(c)、杉川忠範(tb)  
藤崎幸一(b)、木村おうじ純士(ds)

料金 **2500円** (一般) **3000円** (お申し込みは下記まで  
[外山喜雄・恵子撮影] ニューオリンズ風景絵巻展6枚セットお土産付

夫婦ダブル受賞ご報告  
ミュージッククラブ・ジャズ・音楽賞 2018年度ポピュラー部門特別賞 外山喜雄、恵子夫婦で受賞記念も兼ねさせていただきます。

◎ダブルお申込み割引がございます。  
WJF会員 10000円→9000円 一般 10000円→10000円

**8/4** 12:30-15:00

### 皆様の永年の応援に、心より感謝申し上げます。 感謝 WJF25周年記念 懇親パーティー

日本ルイ・アームストロング協会 発足25周年記念 懇親会

銀座ライオン音楽ピヤブラザ(5F)

銀座7丁目9-20 銀座ライオンビル5階 TEL 03-3573-5355

出演 デキシーゼインズ:外山喜雄・恵子、広津 誠(c)  
杉川忠範(tb)、藤崎幸一(b)、サバオ渡辺(ds)  
木村おうじ純士(ds)

特別ゲスト 鈴木孝二(c)、中村誠一(sax)、谷口英治(cl)  
洗足学園音楽大学ジャズフラスガンボ  
早稲田大学ニューオリンズ・ジャズクラブ

着席、お食事、飲み放題  
料金 **7500円** (一般) **8000円** (お申し込みは下記まで



外山喜雄と  
デキシーゼインズ  
外山喜雄 (to, vo)  
外山恵子 (c, tb)  
杉川忠範 (tb)  
広津 誠 (cl)  
藤崎幸一 (b)  
サバオ渡辺 (ds)  
木村おうじ純士 (ds)

日本ルイ・アームストロング協会  
ニューオリンズとの  
交流25年の想い出



お申込 日本ルイ・アームストロング協会  
TEL 047-351-4464 FAX 047-355-1004  
saints@js9.so-net.ne.jp



## WJF25周年記念ダブル例会開催

7月6日はルイ・アームストロングの48回目の命日、そして8月4日はサッチモの118回目の誕生日！

サッチモの命日とお誕生日・・・日本ルイ・アームストロング協会(WJF)は、発足25周年記念ダブルイベントを開催、多くの来賓、会員、ジャズファンの皆様にご出席いただきました。8月4日開催の設立25周年パーティーの出演者は、モダンジャズ界から中村誠一さん(Tsax)、スウィングジャズ界から谷口英治さん(CL)、セイントオブの鈴木孝二さん(CL)がデキシーセイントと共演、また未来のトラッドジャズ界で期待される早稲田大学ニューオリンズ・ジャズクラブ、洗足学園音楽大学ジャズプラスガンボの若者たちも、若々しいサウンドで参加、サッチモに捧げる素晴らしい25周年ライブとなりました。

今年4月に創刊40周年、そして482号の記念すべき発行を成し遂げた、日本唯一のジャズ新聞『ジャズワールド』の編集長で日本のジャズ創成期のビブラフォン奏者、92才にして意気軒高、内田晃一さんもサッチモ『誕生日イベント』にご参加、同紙に大きく記事で取り上げて下さいました。

### 日本ルイ・アームストロング協会25周年記念 特別懇親パーティー (ジャズワールド紙9月号より)

8月4日(土)銀座ライオン音楽ビヤプラザで「日本ルイ・アームストロング協会25周年記念特別懇親パーティー」開催

1994年7月6日(ルイ・アームストロングの命日)に発足した日本ルイ・アームストロング協会(WJF)は今年25周年を迎えたもので、記念CD(19年ぶり新意欲作)発売も同時に果たした

出演:外山喜雄とデキシーセイント:外山喜雄(tp.vo) 恵子(p.bj) 広津誠(cl) 粉川忠範(tb) 藤崎羊一(b) サバオ渡辺(d) 木村おうじ純士(d) 特別ゲスト:鈴木孝二(cl) 中村誠一(Tsax) 谷口英治(cl)。洗足学園音楽大学ジャズプラスガンボ、早稲田大学ニューオリンズジャズクラブ。

日本ルイ・アームストロング協会の活動はこの25年間で、『銃に代えて楽器を』のストーリーで、ニューオリンズのサッチモの孫等に送ることができた楽器は850点を加えた。ニューオリンズが被ったハリケーンカトリーナの被害にも1300万円超を支援。東日本大震災に際しニューオリンズの皆様から日本への恩返しの楽器が届き被災地の子どもたちのジャズバンドが復活。その後も両国被災地の子ども達の相互訪問とジャズによる交流が実現した。サッチモとジャズの故郷ニューオリンズをテーマにした例会開催

(68回)、サッチモ祭の開催(34回)、ニューオリンズ・NYジャズツアー(24回)、会報発行(102号)、ニューヨーク・サッチモハウス開館、並びにニューオリンズ・ジャズ博物館再開のための寄付金各1万ドル。そして著書『ニューオリンズ行進曲』、写真集『聖者ルイ・アームストロング聖地ニューオリンズ』の発行が実現。

夫婦でサッチモ50年。外山喜雄、恵子は後期高齢者と喜寿のカップルとなった。外務大臣表彰(2005年)、国家戦略大臣感謝状(2012年夫婦連名)、ジャズ大賞(2017年)、文部科学大臣表彰(2018年)、ニューオリンズでスピリット・オブ・サッチモ・アワード生涯功労賞(2018年)。そして今年4月ミュージックペンクラブ音楽賞特別賞。

当日は以下の著名人を含め170名が来訪。

写真:石井一(元国務大臣、日本ジャズ音楽協会会長) 鈴木道子(音楽評論家、前ミュージックペンクラブジャパン会長) 内田晃一(ジャズワールド編集長)、湯川れい子(音楽評論家、作詞家)、坂戸勝(元ニューオリンズ総領事)、小針俊郎(ジャズプロデューサー、元FM東京)、松坂ゆう子(ジャズ批評編集長)、富永照子(浅草おかみさん会)、佐藤修(元日本レコード協会会長、日本ジャズ音楽協会理事長)、牧子トンプソン(サー・チャールズ・トンプソン氏夫人)、渡辺和男(東京九段ライオンズクラブ会長)、安藤恒夫(日本通運海運事業支店部長) 4ページに関連写真

**JAZZ WORLD**  
(第三種郵便物認可) 第487号

**日本ルイ・アームストロング協会25周年記念特別懇親パーティー**  
8月4日(土)銀座ライオン音楽ビヤプラザで「日本ルイ・アームストロング協会25周年記念特別懇親パーティー」開催。  
1994年7月6日(ルイ・アームストロングの命日)に発足した日本ルイ・アームストロング協会(WJF)は、今年25周年を迎えたもので、記念CD(19年ぶり新意欲作)発売も同時に果たした。出演:外山喜雄とデキシーセイント:外山喜雄(tp.vo) 恵子(p.bj) 広津誠(cl) 粉川忠範(tb) 藤崎羊一(b) サバオ渡辺(d) 木村おうじ純士(d) 特別ゲスト:鈴木孝二(cl) 中村誠一(Tsax) 谷口英治(cl)。洗足学園音楽大学ジャズプラスガンボ、早稲田大学ニューオリンズジャズクラブ。

**カル研究室**  
山繁雄 ポーカリスト、博士  
日本大学芸術学部音楽学科講師  
ジャズ・ポーカー、丸山繁雄の  
あなたもジャズ・ポーカー!!!  
(本郷) 東京都豊島区池袋2-63-6  
パルゴア・デパートビル5F B1  
Rt. 8392 ☎090-4897-6199 (丸山)  
The Deep  
Little Manuels  
プロミュージックアベニュー渋谷公園  
通り ☎03-3476-5571  
ジャズ・ポーカー・ラボ  
在貨中街西側外809-15  
「古賀ドクターズスタジオ」  
om/index.htm

**flat**  
107-0052  
浦田4081  
63-2563  
63-2564  
lat.biz/

内田晃一さんと、ジャズワールド紙9月号

## 『サッチモの命日』に映像中心の例会 『誕生日』は多くの来賓を迎え懇親パーティー！

多くの会員の皆様、ご協力者、ジャズファンそしてセインツのメンバーに支えられて迎えた日本ルイ・アームストロング協会25周年を、是非『命日～誕生日』の記念すべき例会にできればと企画を考えたのは4月。もう土日の昼間会場を抑えるには、不可能なような出遅れスタートだった。しかし、天国のサッチモが救いの手を差し伸べてくれた

のか、銀座三越の斜め前、キリスト教関係の教文館ビル(1階に教文館書店)の9階『ウェンライト・ホール』、そしてそこからほんの数ブロック、ヤマハホール並びの『銀座ライオン音楽ビヤプラザ』(銀座ライオン5階)がそれぞれ7月4日土曜、8月6日日曜の午後空いていて、夏の銀座の土日アフタヌーンのサッチモ・ダブルイベントが実現した。



7月6日、アメリカン・ミュージック・ジャーニーの特別上演 教文館9階 ウェンライト・ホール

昨年秋、日本公開された映画、『アメリカン・ミュージック・ジャーニー』は、現代のアメリカ音楽のルーツはルイ・アームストロングにある、と米のメジャーなヒップホップスターが、アメリカ音楽の故郷を旅する画期的な映画。是非、WJFの25周年で上映できればと、配給会社『(株)さらい』楠見忠司社長にお願いし上映をご許可頂いた。ハイグレードな画像を是非見ていただきたいと、楠見社長には強力なプロジェクターとブルーレイ・ディスク・プレイヤーもご提供いただき、心からの感謝の気持ちをお贈りしたい。

もう一つ上映した短編は、20年近く以前テレビ東京『そして音楽が始まる』シリーズで放送され、私たちが制作に全面協力した、『この素晴らしき世界』の生まれた背景を探る超秀作短編ドキュメンタリー。『この素晴らしき世界』の作曲家、ジョージ・デイビッド・ワイスのインタビュー、サッチ

モのベーシスト、アーベル・ショー、ベトナムへ向かう兵士たちを前に『素晴らしき世界』をうたったコンサートでサッチモをエスコートした兵士も登場、、、素晴らしい作品を生んだのは、ディレクター中村哲夫さん。なんと今は、テレビマン・ユニオンの取締役になっていらっしゃいます。

映画に続きセインツの演奏でご案内するニューオリンズの旅。司会を担当した会報WW通信編集長山口義憲さんのアイデアで、ジャズの故郷の名所のスライドをバックに演



奏、バーボン・ストリート、ランパート・ストリート、マルディグラの祭り、セント・フィリップ・ストリート、リバーポート、、、等サッチモの故郷をジャズ演奏で散策した。

(右) ご夫妻でご出席のゲスト瀬川昌久さんと佐藤修さん。素敵なお話も頂きました。真ん中は、故いッソにてルラさんご夫人、磯野博子さん





# WJF25周年懇親パーティー@銀座ライオン音楽ビヤホール 写真アルバム



25周年記念懇親パーティーで素敵なお話と演奏、またご出席の皆様、感謝申し上げます。(写真左上から)石井一さん、鈴木道子さん(1970年にサッチモの自伝を翻訳)、湯川れい子さん、浅草女将さん会理事長富永照子さん、元ニューオーリンズ総領事坂戸勝さん、ゲストの鈴木孝二さん、谷口英治さん、中村誠一さん、佐藤修さんと磯野博子さん、ご出席のお客様方2景、早稲田のニューオリの若者達、映画配給会社(株)さい楠見忠司社長からの花束を、WJF女性スタッフを代表し事務局細川ハテミさんから。ゲストの中村誠一さん(Tsax)が創設、現在谷口英治さん(cj)が指導されている、洗足学園音楽大学ジャズプラスガンボ。若い音大生もデキシーとニューオーリンズに夢中!



# WJF25周年記念懇親パーティー



## ザ・ジャパン・タイムスに特集記事 『日本に生きるサッチモのスピリット!』

8月21日、日本を代表する英字新聞『ザ・ジャパン・タイムス』に、日本ルイ・アームストロング協会25周年とニューオリンズとの交流、記念シリーズCDの発売、そして33回目を迎える浅草ニューオリンズ・フェスティバルへのセインツの出演をテーマとした大きな記事が掲載された。ニューオリンズ大学を2017年に卒業、卒論に『日本はニューオリンズの音楽が大好き』を書き、その後日本の大学にも在籍したウイリー・アーケンボーさんの記事。

「外山喜雄・恵子夫妻は人生の殆どを、日本とアメリカの都市ニューオリンズを結ぶ、非公式な音楽大使として過ごしてきた。」と始まる記事は、新聞の一面にも『スポットライトサッチモは生き続ける』とカラーでガイドが入った光栄な記事。

・・・地元で『サッチモ・オブ・ジャパン』と呼ばれる外山夫妻は、2003年以来初めて『サッチモ・サマーフェスト』を欠席した。しかし彼らはまもなく浅草のニューオリンズ・フェスティバルでトム・フィッシャーのニューオリンズバンドと共演する。夫妻の主宰する日本ルイ・アームストロング協会は25周年を迎え、8月4日サッチモの誕生日に、サッチモに捧げるCDをシリーズでリリース、同日協会の25周年記念パーティーも開催する、、、と続き、銃に代えて楽器を、ニューオリンズのハリケーン被災支援。東日本大震災で東北の子供たちに届いたニューオリンズからの支援楽器と、その後の日米子供たちのジャズ交流。昨年8月ニューオリンズ・サッチモサマーフェストでの『スピリット・オブ・サッチモ・アワード』受賞にも触れている。

大変光栄な記事は、ネット検索『Japan times yoshio toyama』で読んでいただけます。

また、アーケンボー君の卒論も、検索『nihon wa new orleans no ongakuga daisukidesu』でお読みいただけます。



記事を書いた  
ニューオリンズ  
在住の  
アーケンボー氏  
日本の桜を  
バックに!



# 銃に代えて楽器を！ ニューオリンズのハリケーン被災 そしてニューオリンズから



**日本ルイ・アームストロング協会の25年**  
 「銃に代えて楽器を」のスローガンで、ニューオリンズのサッチモの孫達に送った楽器は850点を超えました。ニューオリンズが被災したハリケーン・カトリーナの被害にも一千万円超を支援。東日本大震災に際しては、ニューオリンズの皆様から「日本への恩返し」の楽器が届き被災地の子供たちのジャズバンドが復活。その後も、両被災地の子供たちを結ぶ、ジャズによる交流が実現しました！



# 子供達のジャズバンドに恩歸しの楽器が！ 子供達のジャズ交流も！



また、サッチモとジャズの故郷ニューオーリンズをテーマにした例会（68回）の開催、サッチモ祭（34回）、ニューオーリンズ NY、ロス・ジャズ祭等のジャズツアー（24回の開催ご参加者延べ750名様）、会報発行（103号）。NY サッチモハウス開館、ニューオーリンズ・ジャズ博物館再開のための寄付、各1万ドル。そして『ニューオーリンズ行進曲』、写真集『聖者ルイ・アームストロング聖地ニューオーリンズ』の発行等  
**皆様のお陰で実現いたしました！！**



## 日本ルイ・アームストロング協会 25年間 開催のWJFスペシャルの例会等リスト

ジャズ映画・トーク・演奏・スペシャルゲストで画期的なシリーズ例会を開催して頂くことができました。  
加えて1981年から2014年 毎夏のサッチモ祭を34回開催させて頂きました。

ホストバンド：外山喜雄とデキシシーセインツ 外山喜雄(TP.Vo)・恵子(P.Bj) 広津誠(CL) 粉川忠範(Tb) 藤崎羊一(B) サバオ渡辺(Crs) 木村おうじ純士(Drs)  
鈴木孝二(CL) 田邊信男(Tsax ジミー・スミス(Drs) マイク・レズニコフ(Drs) バイソン片山 (Drs) 古里純一(B) 後藤雅広(CL) 松本耕司(TB) 他の皆様

No	日付	行事名	場所	内容
発足	1994.07.06	ルイ・アームストロング・ファウンデーション・ジャパン サッチモの命日	渋谷ボス	ゲスト:油井正一、いソノテルヲ、池上悌三、石原康之 出演:原朋直、谷口英治、原田靖、ドリー・ペーカー、水森亜土
1	1994.08.22	A Night in New Orleans	渋谷ボス	ゲスト:シヨンプルーニアスニューオリンズ・ジャズ・オールスターズ
2	1994.10.11	Swedish Jazz Kingsを迎えて	浅草本覚寺	ゲスト:スウェディッシュ・ジャズ・キングス、パイユーストンバーズ
3	1995.03.03	ジャズ映画とトークで楽しむサッチモの世界	アテネフランセ	ゲスト:油井正一「私のジャズ体験」
4	1995.07.12	1周年記念例会 「ジャズ映画とトークと演奏で楽しむサッチモの世界」	アテネフランセ	ゲスト:池上悌三
5	1996.01.19	「ジャズ映画とトークと演奏で楽しむサッチモの世界」	アテネフランセ	ゲスト:元水道橋Swingマスター柴田栄一 サー・チャールズ・トンプソン(P)
6	1996.06.14	「ジャズ映画とトークと演奏で楽しむサッチモの世界」	アテネフランセ	ゲスト:サー・チャールズ・トンプソン(P)
7	1997.02.14	「ジャズ映画とトークと演奏で楽しむサッチモの世界」	アテネフランセ	ゲスト:サー・チャールズ・トンプソン(P)
8	1997.06.20	「さようならサー・チャールズ・トンプソン」	アテネフランセ	ゲスト:中村 宏
9	1998.01.15	新年会	ラルゴ	ニューオリンズ風新年パーティー(外山恵子のニューオリンズ料理)
10	1998.05.15	日本ルイ・アームストロング協会(WJF) 新体制発足記念例会	TUC	ゲスト:いソノテルヲ
11	1998.07.04	「若き日のサッチモと1920年代のジャズ」	TUC	司会・トーク:瀬川昌久
12	1998.11.12	「サッチモ・ワンダフル・オン・フィルム」-1 映像で見るサッチモの足跡1932-1969	サッチモ生誕 100年 5回シリーズ アテネフランセ	1932年～1942年「若き日のサッチモ」 ゲスト:瀬川昌久
13	1999.01.14	「サッチモ・ワンダフル・オン・フィルム」-2		1943年～1947年「ピリー・ホリデイと共演」 ゲスト:瀬川昌久
14	1999.03.11	「サッチモ・ワンダフル・オン・フィルム」-3		1948年～1956年「サッチモ・イン・ハリウッド」 ゲスト:瀬川昌久
15	1999.05.06	「サッチモ・ワンダフル・オン・フィルム」-4		1957年～1958年「世界を回った音楽大使「サッチモ」
16	1999.07.08	「サッチモ・ワンダフル・オン・フィルム」-5		1959年～1969年「ワット・ア・ワンダフルワールド」
17	1999.12.09	「サッチモ生誕100年とジャズの巨人達」-1	アテネフランセ	「サッチモとジャズの故郷ニューオリンズ」 ゲスト:ニューオリンズ・ラスカス
18	1999.12.23	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	
19	2000.03.23	「サッチモ生誕100年、その歴史をたどる」-2	アテネフランセ	「シドニー・ベッシュとソプラノ・サクソ・ジャズ」 特別ゲスト:ジョージ・プロバート
20	2000.07.13	「サッチモ生誕100年、ジャズ創世期への旅」-1	アテネフランセ	「1917年世界初のジャズレコード吹き込まれる」 ゲスト:関泰子(Violin)ジェニファー・ヒューズ (ゴスペル) 解説:瀬川昌久
21	2000.10.19	「サッチモ生誕100年、ジャズ創世期への旅」-2	アテネフランセ	「ジェリー・ロール・モートンとアーリー・ジャズの巨人達」 ゲスト:ブッチ・トンプソン
22	2000.11.23	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	
23	2001.01.18	「サッチモ生誕100年、ジャズ創世期への旅」-3	アテネフランセ	「日本のサッチモ、南里文雄と日本のジャズ創世期」 ゲスト:園田憲一とデキシシーキングス 高橋伸寿(Vo)松井かおる(Vo) 瀬川昌久
24	2001.04.19	「サッチモ生誕100年、ジャズ創世期への旅」-4	アテネフランセ	「世界をスイングさせた男/若き日のサッチモ」
25	2001.07.19	「サッチモ生誕100年、ジャズ創世期への旅」-5	アテネフランセ	「ローリング・トゥエンティーズ!! 激動の1920年代」 ゲスト:関泰子(Violin)下間哲(TP)清水万紀夫(CL)他
26	2001.10.25	「平成13年度文化庁芸術祭参加」 ジャズ創世期への旅	ヤマハホール	「ルイ・アームストロング生誕100年ジャズ創世期への旅」ゲスト:原朋直(tp)関泰子 (Violin)ドリー・ペーカー(Vo)ジャンター・マクキャリー(ゴスペル) トークゲスト:瀬川昌久
27	2001.12.24	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	
28	2002.05.03	「再会! サー・チャールズ・トンプソン」	新浦安ハブ	ゲスト:サー・チャールズ・トンプソン
29	2002.12.23	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	
30	2003.05.23	「再会! サー・チャールズ・トンプソン」	新浦安ハブ	ゲスト:サー・チャールズ・トンプソン
31	2003.06.17	「ベスト・オブ・ルイ・アームストロング オン フィ ルム」	アテネフランセ	特別トークゲスト:与田輝雄(テナーサクソ)
32	2003.12.23	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	
33	2004.05.11	「10周年特別企画 皆様へ感謝を込めて」	アテネフランセ	「ジャズ映画と生演奏楽器プレゼント報告の夕べ」当日ご来場の皆様に10周年記念プレ ゼント ゲスト:ジミー・スミス(D)
34	2004.07.06	10周年特別企画 映画「サッチモは世界を廻る」	アテネフランセ	特別ゲスト:和田誠
35	2004.12.23	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	
36	2005.06.15	夫婦でデキシシー30年 「サッチモとたどるジャズの歴史」-第一回	アテネフランセ	「少年サッチモが聴いたジャズ」1901～1923年 ゲスト:瀬川昌久 ジミー・スミス
37	2005.11.23	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	



No	日付	行事名	場所	内容
38	2006.01.18	夫婦でデキシー30年 「サッチモとたどるジャズの歴史」-第二回	アテネフランセ	「サッチモの黄金時代(1)1923年～1928年」シカゴ「騒然、ニューヨーク激震」ゲスト:ジミー・スミス(Dr)クリス・キャリブレス(P)下間哲(TP)田辺信男(Sax)
39	2006.11.06	「ボブ・グリーンを迎えて」	新浦安ハブ	ゲスト:ボブグリーン(P)
40	2006.12.23	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	
41	2007.01.11	夫婦でデキシー30年 「サッチモとたどるジャズの歴史」-第三回	アテネフランセ	「サッチモの黄金時代(2)1929年～1934年」ゲスト:ジミー・スミス(Dr)
42	2007.12.23	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	
43	2008.10.29	夫婦でデキシー30年 「サッチモとたどるジャズの歴史」-第四回	アテネフランセ	「スイング・ザット・ミュージック」1935～1945 門外不出のサッチモ・ビッグバンド・アレンジが日本に!! 例会では15人編成スペシャル・サッチモ・ビッグバンド!!
44	2008.12.23	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	aaaaaa
45	2009.7.12	日本ルイ・アームストロング協会設立15周年感謝の集い	上野精養軒	ゲスト:日野皓正・前田憲男・藤家虹二・水森亜土・谷口英治・下間哲・中川喜弘・ジミー・スミス他
46	2009.12.23	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	
47	2010.7.6	夫婦でデキシー30年 最終回 「サッチモとたどるジャズの歴史」-第五回	アテネフランセ	「デキシーランドジャズ・リバイバルとサッチモ大使」
48	2010.12.23	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	ゲスト:サー・チャールズ・トンプソン
49	2011.2.15	お帰りなさい!サー・チャールズ・トンプソン	アテネフランセ	ゲスト:サー・チャールズ・トンプソン92歳 蘇るハンガード盤、ビック・ディケンソン・ショーケース・セッション!!
50	2011.12.23	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	ゲスト:サー・チャールズ・トンプソン
51	2012.05.27	銀座で気仙沼支援チャリティライブ	銀座TSビル	気仙沼復興プロジェクトfrom銀座
52	2012.12.23	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	ゲスト:サー・チャールズ・トンプソン(94歳)
53	2013.4.30	外山喜雄恵子国家戦略大臣表彰記念 映画とトークとライブコンサート 「世界を廻った音楽大使サッチモ」	大和田 伝承ホール	ゲスト:原信夫・瀬川昌久・飛入りゲスト日野皓正 花岡詠二・中川喜弘・下間哲・筒井政明・蘭田勉慶・外山喜雄・恵子・鈴木孝二・粉川忠範・藤崎羊一・サバオ渡辺・広津誠、司会:中川ヨウ
54	2013.12.23	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	
55	2014.12.23	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	ゲスト:中村誠一
56	2015.3.28	サッチモとポピュラーミュージックの世界	銀座十字屋	生演奏と映像でサッチモの足跡をたどる。特別出演:トーク 佐藤修
57	2015.7.12	日本ルイ・アームストロング協会設立21周年感謝の集い	上野精養軒	ゲスト:前田憲男・中村誠一・下間哲・中川喜弘・後藤千香・関泰子他
58	2015.12.19	紀尾井クリスマスコンサート	紀尾井ホール	解説:瀬川昌久 司会:露木茂「ニューオリンズジャズと素晴らしいサッチモの世界」 ゲスト:前田憲男・白石信・関泰子・後藤千香
	2016.12.23	紀尾井クリスマスコンサート	紀尾井ホール	ジャズの源泉をたどる旅VOL.2 ビッグバンドの時代 外山喜雄ビッグバンド 守屋純子紀尾井ジャズオーケストラ
59	2016.2.27	春のシュビドゥバ	銀座十字屋 ホール	ゲスト:丸山繁雄・ギラ・ジルカ・細野よしひこ・瀬川昌久
60	2016.7.2	外山喜雄・恵子の夫婦でジャズ 50年記念	アテネフランセ	思い出語りと映画「サッチモは世界を廻る」外山喜雄・恵子
61	2017.7.1	ジャズレコード100年記念 第1回ラグタイムから「JASS」誕生まで	アテネフランセ	ゲスト:アレクスエイ・ルミヤンツェフ トークゲスト:佐藤修
62	2017.8.5	ジャズレコード100年記念 第2回サッチモ「この素晴らしい世界」 録音から50年	アテネフランセ	ゲスト:ジャズ評論家瀬川昌久、ジャズ喫茶イーグル店主ジャズ評論家 後藤雅洋、元日本レコード協会会長佐藤修
63	2017.9.30	ジャズレコード100年記念 第3回サッチモ「サッチモのジャズ事始め」	アテネフランセ	特別ゲスト:2016ジャズボーカル賞大賞受賞霧生ナブ子、太田寛二(P) ゲスト:元日本レコード協会会長佐藤修
64	2017.12.17	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	
65	2018.2.10	デキシーセインツの素敵な仲間達	銀座 ヤマハホール	特別ゲスト:前田憲男、水森亜土 友情出演:竹山洋、早稲田大学ニューオリンズ ジャズクラブの若者たち 司会:露木茂 デキシーセインツの素敵な仲間達:粉川忠範、広津誠、藤崎羊一、サバオ渡辺、木 村おうじ純士 友情出演:鈴木孝二、後藤雅広、松本耕司
66	2018.12.23	懇親クリスマスパーティー	新浦安ハブ	
67	2019.7.6	外山喜雄・恵子の「ニューオリンズ物語」	銀座教文館	映画とトークと演奏「アメリカン・ミュージック・ジャーニー」
68	2019.8.4	WJF25周年記念「感謝・懇親パーティー」	銀座ライオン	特別ゲスト:鈴木孝二(c)中村誠一(sax)谷口英治(c)洗足学園音楽大学ジャズブラスカンホ 早稲田大学ニューオリンズジャズクラブ

監修:ジャズ評論家 瀬川昌久様 いソノてルヲ様 中村宏様 元日本レコード協会会長、日本ジャズ音楽協会理事長 佐藤修様  
協力:アテネフランセ文化センター松本正道様 司会:山口義憲

☆バンドとして参加して下さった皆様: 蘭田憲一とデキシーキングス、ニューオリンズ・ラスカルズ(大阪)

☆68回の例会開催に加え、サッチモ祭34回の開催:1981年に第一回目を大丸東京店屋上ピヤガーデンで開催 その後日本橋東急屋上ピヤガーデン、サッポロビル恵比寿麦酒記念館のご協力をいただき、2014年、第34回までを開催、多くのバンドの皆様、ジャズファン、ニューオリンズファンの皆様に喜んでいただきました。協力感謝:早稲田大学ニューオリンズジャズクラブの若者達

例会、サッチモ祭、記念パーティー等にご出演くださった、多くのプロ、アマのミュージシャンの皆様、ご出席の会員、ジャズファン諸氏  
ボランティア・スタッフの皆様 本当にありがとうございます!



## サッチモと音楽評論家 黒田恭一さん

10年前に71歳で惜しくも亡くなられた音楽評論家、黒田恭一さん(1938-2009)。ご専門はクラシックにもかかわらず、素晴らしい感性あふれる評論と文章で、サッチモとニューオリンズについて、専門の私達もウウウンとなる深い考察力に感心させられる。しかも摩登ジャズ、ポピュラーどの分野でもそうだからびっくりする！！



実は、WJF 日本ルイ・アームストロング協会を始めて半年、黒田さんの素敵なサッチモ評論に出会い、どうしても会報でご紹介したくてご本人に電話をしたことがある。快諾を得て、1995年2月発行ワンダフルワールド通信3号に掲載させていただいた。(左)

数か月前、浦安ハブのライブの常連、杉田和男さんが、突然サッチモの記事のコピーを持ってきてくださった。『僕だけの音楽II』(Muzak Inc 社刊)に掲載された、別のこれまた素晴らしいサッチモの記事だった！

もう今では著者の黒田さんにお電話でOKいただけないが、絶対24年前同様『どうぞどうぞ』といってくださいと確信、、、ここにご紹介する。

### 「僕だけの音楽II」 ルイ・アームストロング 黒田恭一

もうすこし、それらしい、いわくのあるレコードならよかったと、思う。しかし、僕がルイ・アームストロングの名前を知ったのは、お恥ずかしいことながら、「キッス・オブ・ファイア」のレコードによってである。

ルイ・アームストロングのうたった「キッス・オブ・ファイア」のレコードは、当時のラジオのヒット・パレードをにぎわしていた。「キッス・オブ・ファイア」によって知ったためもあって、ぼくは、はじめ、不覚にも、ルイ・アームストロングのことをポピュラーソングの歌い手兼トランペット奏者、と思い込んでしまった。しかし、ぼくは、あの独特のしわがれ声が好きだったし、歌の間に挿入されるトランペットの演奏にも胸

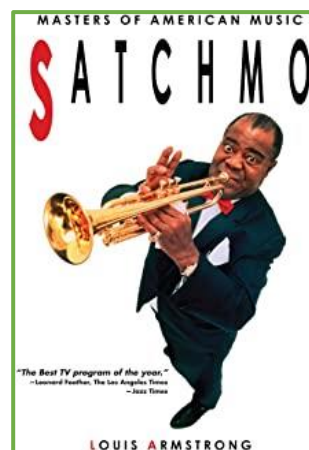
をときめかされた。

それからしばらくたって、どのようなきっかけでその曲を知ったのかは忘れたが、「オチ・チョ・ニ・ヤ」のEP盤を買った。あのロシア民謡の「黒い瞳」の音楽によった「オチ・チョ・ニ・ヤ」の、五分半ほどの演奏にぼくはすっかり心をうばわれてしまい、何日もの間、そのレコードばかりをきいていた。

後にジャズのことをすこし勉強しはじめたときに、ルイ・アームストロングがただのポピュラー・ソングの歌い手兼トランペット奏者ではないということを知った。難しいことを口にしたりせず、いつも面白いことを話してくれる愛想のいいおじさんだと思い込んでいた人が、どうしてどうして、ジャズの神様であったとわかって、ぼくは、いくぶん驚きつつ、さもありなん、と思った。たぶん、幼い耳も、ルイ・アームストロングのプレイに尋常でないものを感じていたのである。

ルイ・アームストロングがサッチモという愛称で親しまれていることは当時も知っていた。サッチモ(Satchmo)ということばは、普通の英和辞典にはでていなかった。俗語辞典でようやく、そのことばを見つけることができた。そこには、「大きな口の人」、とでていた。意味がわかってしまうと、なんとなくルイ・アームストロングをサッチモと呼ぶのがはばかられた。

つい最近、「サッチモ/ルイ・アームストロング」というタイトルのついたビデオを視聴する機会があった(ソニー・レコード LD/SRLM806、VHS/SRVM806、B/SRUM3806)。ルイ・アームストロングの人間としての素晴らしさと音楽家としての大きさを、あらためて思わずにはいられなかった。このビデオでは、ルイ・アームストロングの生涯や人柄や、それに音楽が、彼とゆかりのあった人たちのことばや古いフィルムであきらかにされている。ビデオのためにスクリプトを書いて、同時に監督をしているゲイリー・ヒギンズがルイ・アームストロングに対してなみなならぬ愛情をいっているためであろう、興味つきない、説得力にとんだ内容のビデオになっている。



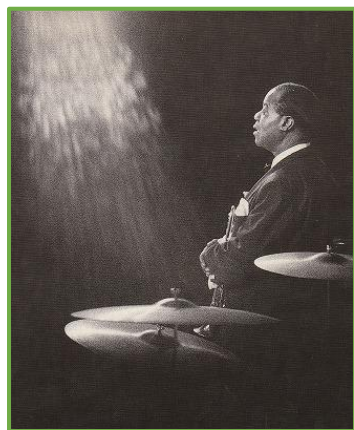
ビデオに登場するミュージシャンたちは、ルイ・アームストロングのことを、サッチモとはいっていない。彼らは、みんな、ルイ・アームストロングのことを、おっさん、おやじさんを意味するパップということばでよんでいる。ルイ・アームス



トロングへの思いの感じられる、素敵なのよびかただと思っ  
た。しかし、だからといって、ぼくら、ルイ・アームストロング  
にえんもゆかりもない人間がポップといったら、いかにもわ  
ざとらしくなる。

「サッチモ/ルイ・アームストロング」では、ウイントン・マル  
サリスをはじめとして、レスター・ボウイ、トニー・ベネット、ミ  
ルト・ヒントン、アール・ハインズ、デクスター・ゴードン、とい  
ったようなさまざまなジャズ・ミュージシャンたちが登場し  
て、ルイ・アームストロングについて語っている。彼らの語  
る言葉のひとつとひとつが素晴らしく、きいていて、じーん  
としないではいられないものばかりである。しかも、彼ら  
は、ルイ・アームストロングのことをはなすのが嬉しくてしか  
たがない、といった表情ではなしている。

ルイ・アームストロング以外にも、すぐれたジャズ・ミュ  
ージシャンはたくさんいる。



しかし、ルイ・アームスト  
ロングのようにジャズを過度  
に芸術的にすることをい  
ましめつつ、しかもきわめ  
て高度のことをやっての  
けたジャズの革命家はい  
なかったように思う。ルイ  
・アームストロングはエン  
ターテイナーのふりをして、  
徹底的に音楽をやったの

である。なんといったって、そこがルイ・アームストロングの  
素晴らしいところである。

もし、ルイ・アームストロングを誤解している人がいたと  
すれば、その人は、たぶん、ルイ・アームストロングにきわ

だっていた、ききてへのサービス精神を聴衆へのおもねり  
ととりちがえたのである。ルイ・アームストロングは、「キッス・  
オブ・ファイア」をうたっても、「セ・シ・ボン」をうたっても、あ  
るいは「オチ・チョ・ニ・ヤ」をうたっても、彼のジャズにとりこ  
んだところでやってのけたのであって、彼のジャズに嘘を  
ついたわけではなかった。そこがルイ・アームストロングと  
いう音楽家のほんとうに凄いところだと思う。

ルイ・アームストロングは、ぼくの音楽なんて、たかがエン  
ターテイメントで、と居直ったわけではなく、かといって、  
ジャズを小難しくしたわけでもなかった。ルイ・アームスト  
ロングは、いつでも、ききてが自分の身丈で楽しめるような音  
楽をやりつづけたのである。さまざまある音楽のなかには、  
ききてが背伸びしたり、膝をおりまげたりすることをもと  
めている音楽もあるように思う。ルイ・アームストロングによ  
ってもたらされる音楽は、そのような音楽の対極にある音  
楽である。ききてがききたいようにきいて、しかも 十分に  
楽しめる音楽が、ほんとうにいい音楽なのではないか。

ルイ・アームストロングをきくのなら、やはり、1920年代の  
ホット・ファイブ時代のものをきかなくては、というジャズ通  
がいることを知らないわけではない。たしかに、あれはあれ  
で、ああ、これがジャズだ、と思わせる瞬間にみちみち  
ていて、なんとも素晴らしい。しかし、ぼくは、ホット・ファ  
イブ時代の「ウエスト・エンド・ブルース」に感激しつつ、「ハ  
ロー・ドリー」にもききほれてしまう。

「サッチモ/ルイ・アームストロング」というビデオは、もとも  
と大好きだったルイ・アームストロングをもっと好きにしてく  
れた素敵なおビデオだった。ビデオを視聴しおえた後、ル  
イ・アームストロングのLPやCDに耳をすまして、極上の  
ひとときをすごした。

1991年8月



**19年ぶりのCD!! デキシーセイントの新意欲作シリーズ! 毎月新作CD好評発売中!!**

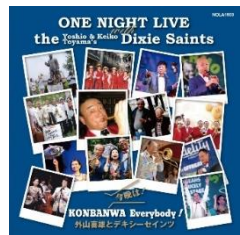
**8月4日発売 「サッチモと外山喜雄・恵子デキシーセイントの楽しい仲間達」 2700円**

高校時代から60年憧れ続けたサッチモの若き日、1920年代 HOT5の名演からディズニーソング『チムチムチェリ  
ー』、『この素晴らしき世界』、『聖者の行進』まで。

デキシーセイントの楽しい仲間たちがサッチモに捧げ、心を込めてご機嫌にスウィング!!

**<収録曲> ポテト・ヘッド・ブルース スウィングしなけりや意味がない ウェスト・エンド・ブル  
ース オチチョニア (黒い瞳) この素晴らしき世界 聖者の行進**

マーシー 二人でお茶を ジーバス・クリーバス クラリネット・マーマレード ロシアの子守歌 チムチム・チェリ  
ー サボイでストンプ 明るい表通りで ハロー・ドリー



**19年ぶりのCD 意欲作 第2弾!! デキシーセイントと一夜のライブ! 2700円**

**10月4日発売 One Night Live with the Dixie Saints 「今晚はEverybody!」**

サッチモから、スウィング、ゴスペル、モダンジャズまで! “サッチモとディズニーのハート”で包んだ!!

サッチモのヒット曲あり、ニューオリンズあり、デキシーあり、ゴスペルあり、ディズニーあり、スウィング・ジャズからア  
ート・ブレイキーのモーニンまで、...

**<収録曲> 南部の夕暮 ビビデバビデ・ブー マック・ザ・ナイフ アイスクリューム バーガンディー・ストリート・ブル  
ース A列車で行こう 林檎の樹の下で テネシー・ワルツ キャラバン 鈴懸の径 ビッグノイズ・フロム・ウィネカ モ**

ーニン アンダー・ザ・シー ニューオリンズを忘れることは エーメン セカンド・ライン

**11月発売 ジェリー・ロール・モートンの世界 (バディー・ポールデンズ・ブルース) 2000年録音 米 ブッチ・トンブソン(p)**

**12月予定 ブレイズ・ディズニーソングス お申込み 047-351-4464 FAX:047-355-1004 外山まで**



**ご寄付と嬉しいお手紙  
ありがとうございます**

**◆宇都宮ジュニアジャズ・オーケストラ 29,817 円**

「ジャズの街」宇都宮市で3月23日、子供たちのジャズ・ビッグバンド「うつのみやジュニアジャズオーケストラ」の定期コンサートが開かれました。トロンボーン奏者で、うつのみやジャズのまち委員会会長吉原郷之典さん(会員)が20



06年から指導、素晴らしい小さなジャズメンたちから、ニューオリンズの為にコンサートで集まった寄付をお送りいただきました。

感謝!

②ブライツ☆キッズ小学生のみで活動しているビッグバンドで、キラキラした演奏に沢山の声援が飛んでました。(写真右)



③ 気仙沼ジュニアジャズオーケストラ

“スウィング・ドルフィンズ”は、バンド結成 27 年目で定禅寺ジャズフェスの常連。ファンも多く菅野新会長共々喝采を浴びてました。前会長の須藤さん(仙台在住)もご夫婦で応援に見えてました♪(写真下)



**第29回定禅寺ストリートジャズ・フェスティバル  
ニューオリンズからの楽器で復活したヤングバンドも  
成長し元気に演奏! 宮城健さん(会員)から**

仙台を代表する定禅寺ジャズ祭が9/7~8の2日間開催されました。東日本大震災の年も開催され、今年は回を重ねて29回目。46か所のステージが会場となり、700以上のバンドが参加、演奏者は5000人を超えました。25回記念企画として始まった子供たちのバンド「ジュニアジャズミーティング in みやぎ」も5回目となり、WJFとご縁の深いジュニアバンドも益々の活躍で嬉しい限りです♪

各バンドは2日間で1回のステージですが、ジュニアバンドのみ、定禅寺ストリートジャズフェス会場と専用会場の「ジュニアジャズミーティング in みやぎ」の両方で2回の出演に恵まれています♪

宮城健



①石巻ジュニアジャズオーケストラ“スウィング・リバイ・パイレーツ”。2012年、ニューオリンズの少年たちが来日した際バリトンサクソスを寄贈されたリコさんは、当時小学校4年生。今は高2になってバンドを引っ張ってました。10/14には石巻で定期演奏会の予定も。写真:2012年のリコさん。今年バンド紹介をするリコさん。演奏中のパイレーツとリコさん(前列右端)

**会員募集中**

＝WJF 年会費＝

一般会員 (General Membership)	¥6,000
学生会員 (Student Membership)	¥3,000
賛助会員 (Friends of Louis Armstrong)	¥12,000

**■会費のお振込先■**

郵便振替 00110-4-415986

ワンダフルワールド・J・F

銀行振込 三菱東京 UFJ 銀行浦安駅前支店

普通:5175119“ワンダフルワールド”

お問い合わせ:WJF 事務局

TEL:047-351-4464

FAX:047-355-1004

Email:saints@js9.so-net.ne.jp

日本ルイ・アームストロング協会 HP

<http://wjf4464.la.coccan.jp>

う発向のいをつが労サし年賞さとら▲日念J会ル生子と成山ヤマリい子『のCらズのーリルイ「  
。信け活だ敬たえ賞ッた夏にれWれ外にをF(イ、夫思と夫パすの仲デサ新のCか・パドース外ルイ「  
(山)さて動『愛との『チ『ニ輝、Jた山祝サはW・そ妻のまりのジズデてはデキシーと外山喜雄さん、今夏  
てメこにそいい夫・ピリオしま活にはとモ創(ム)0▲表ヤルスイズ人スイズ第一の  
いッれ代のま大妻アリオしたで動わ、がの立のスト5の外山喜雄の「パル「  
こーからえ精すきとートン。にをた皆で命2活ト5のすズ人スイズ人スイズ第一の  
とジも樂をサ喜っド・ズ中数高る様き日5動ロ年はヤ雄1の「パル「  
でと世器受ッびて生オでで多くジにまと周でンはヤ雄1の「パル「  
しし界をけチでか涯ブ受もの評ヤ支し誕年、グ日ズ・ズ集は・  
よてに『継モあけ功・賞昨受働ズえた生記W協本人恵だ大外

編集長から